

ふくし TIME'S

<http://www.knsyk.jp>

福祉タイムズ



ともしび運動

11

2009 No. 696



〈写真・菊地信夫〉

介護の仕事、それは“心のつながり”

勉強にサークルにアルバイトと充実した大学生活を送る、県立保健福祉大学4年生の小野達也さん(21歳)は、来春から障害福祉施設に就職することが決まっている。

“介護の現場を知りたい”その思いからチャレンジする気持ちでケアホームでのアルバイトを始めた。そこでの利用者さんとの関わりや、尊敬できる職員さんとの出会いが、小野さんに介護の仕事に進む決意をさせた。

「利用者さんと自然に笑い合えた時などに“心が通じたんだ”と感じられる瞬間が自分にとってのやりがいや励みになります。また、利用者さんとの何気ない関わりの中にあっても、思いやりをもって接している職員さんの姿を見て、自分もそんな専門職になりたいと思いました。まずは経験を積んでもっともっと自分磨きをしたい」と目を輝かせる。

介護職の魅力は、人間関係の面白みと自分を成長させてくれることと語る爽やかな笑顔の向こうに、無限の可能性を見た。

CONTENTS

特集

自分らしく生活できることを目指して… 2

NEWS&TOPICS

第7回就労支援ネットワークフォーラム、第22回県里親大会… 4

福祉人材確保定着・最前線 …… 5

でかけてみませんか …… 6

連載

子どもたちがのびのびと育つために-第8回- … 8

県社協のひろば

第58回県社会福祉大会、経営管理充実セミナー …10

かながわHOT情報

鶴巻地区社会福祉協議会(秦野市) ……12